

採択理由

プログラム名： 若手研究者の自立的な研究環境整備促進
課題名： 若手先端科学研究者の研究環境改革
提案機関名： 群馬大学

コメント

本提案は、機関の長のリーダーシップの下に、既存の組織、研究体制の枠を越えた「先端科学研究指導者育成ユニット」を創設し、医工連携を基軸にテニユアトラック制による新たな研究・教育人材育成システムの確立を目指すものである。公募審査・採用に関する内容、若手研究者育成プログラム及び学内への展開に関する計画は具体的である。また、テニユアトラック若手研究者への十分な研究資金に加えて、各チームに外国人研究者の顧問を配置し、教育能力育成にも注力するなどの取組は高く評価でき、附属病院等の臨床系へのテニユアトラック制導入の試みは画期的であり、その定着化が期待される。

今後、女性研究者の支援体制を充実すること、自校出身者比率を更に抑制することなどにより、人材の多様性に一層の配慮を行うとともに、テニユアトラック若手研究者の国際公募実施に当たって、医学・工学分野で育成するテニユアトラック若手研究者の具体的な研究領域及びテニユア審査の基準・手順を明確にすることが必要である。